

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

このたびの東日本大震災では、多くの方が被害にあわれました。被災された方には、糖尿病患者さんも多くいらっしゃる、薬剤が不足するなど避難所で不自由な生活を余儀なくされていると報道されております。被災された方に役立とうと、街頭やスポーツなどのイベントでは募金活動が行われております。つかさ会としては、会員の皆様からと考えて予備費より 50,000 円（会員 1 人 100 円の計算）を日本赤十字社へ送りました。岐阜県支部としては 100,000 円（会員 1 人 50 円の計算）を検討しているところです。いずれも皆様への直接の徴収はございません。個人として協力いただける方は、日本糖尿病協会本部が義援金を集めております。振込先は下記 URL を参照されるか、事務局まで連絡ください。[http://www.nittokyo.or.jp/kinkyu\\_110315.html](http://www.nittokyo.or.jp/kinkyu_110315.html)

このような震災を目の当たりにして、我々も不安になります。しかし今は被災地の復興が第一です。東京都のガソリンスタンドのように、みんなが競って満タンにすれば無くなります。会員の皆様も、今しばらくの間は新たにインスリンや薬などを備蓄することがないようにお願いします。

同封しましたが、5月8日は「つかさ会総会」の予定です。30分ほどの会議では、会費の値上げが議題に上がります。その後の講演会は、糖尿病関連スタッフによる役に立つ内容が企画されております。どうぞご都合をつけてお越しください。

今月号は震災の影響でさかえ到着が遅れましたので、皆様のお手元にお届けすることが遅れました。大変申し訳ございませんでした。

今月号の『さかえ』では、“糖尿病うそ!?!ほんと!?!(P56)”を読んでみてください。「糖尿病治療の最も基本的なことは、主人公が患者さんであること」この事が当然でしょって思われる会員の方もいらっしゃる、治すのは医者だ!って思われている方もいらっしゃるかと思います。糖尿病とは長い付き合いになることがほとんどですので、自分でも理解されて、上手な療養生活が送れるとよいですね。

昨今話題のインクレチン関連薬について“せんせい教えてください!(P18)”でまとめられています。これまでの『さかえ』でも掲載がありましたが、糖尿病の新薬として期待が大きいようです。しかしNHKの「ためしてガッテン」の放送後に多くの問い合わせがあったように、情報を正しく得るのは難しいようです。番組で正しいことを放送していたにも関わらず、自分の都合のよいところだけを聞いて判断してしまうのは誰でもあることです。迷ったら主治医に相談してみましょう。

P60 で紹介されている古田君は、つかさ会お馴染みの看護師でよく頑張っています。ほとんどの行事に参加しますので、顔を覚えておいてくださいね。